

平成24年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 35

千葉県立船橋北高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校普通科で学習する能力及び適性を有し、次のアからオのうち、いずれか一つ以上の資質を有し、入学後も引き続き、更にその資質を伸ばすために学業及び特別活動に熱心に取り組む意志がある者。

ア 積極的に学習活動に取り組んだこと、又は、学習活動で成果（各種検定取得や研究発表など）をあげた者。

イ 運動系又は文化系部活動（校外クラブ活動も可）を3年間継続し、なおかつ活躍した実績を有する者。

ウ 生徒会本部役員（会長・副会長・会計・書記）として継続して熱心に活動した者。

エ ボランティアや体験活動などに継続して熱心に取り組んだ者。

オ 3年間皆勤であった者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の成績を資料とする。
(2) 調査書	全教科の評定を含む記載事項を資料とする。
(3) 自己表現	自己表現の結果を資料とする。
(4) 志願理由書	記載内容を資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書 イ～エについて記載事項を30点満点で評価する。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合、審議の対象とする。 選択教科の評定で、評定Cの教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において10日以上、または3年間の合計が20日以上の欠席がある場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	総合的に評価する。

<p>エ 特別活動の記録 部活動等の記録 総合所見</p>	<p>学級活動・生徒会活動・学校行事・部活動・その他の活動で実績がある場合、A B Cの3段階で評価する。</p> <p>評価A：部活動等実績 関東大会以上の出場 評価B：部活動等実績 県大会以上の出場 学習検定 英検3級以上，漢検3級以上，歴検2級以上， 地理検2級以上，硬筆検2級以上，毛筆検2級以上， 英語スピーチコンテスト県大会出場 各種発表 読書感想文等全国入賞 生徒会 本部役員（会長，副会長，書記，会計） 評価C：部活動等実績 市内大会団体ベスト4・個人8位，部長，剣道2段 学習検定 英検4級，漢検4級，歴検3級，地理検3級， 硬筆検3級，毛筆検3級， 英語スピーチコンテスト市内大会出場 各種発表 読書感想文等県入賞 ボランティア・体験活動 具体的かつ継続的な参加 出欠状況 皆勤</p>
---------------------------------------	--

(3) 自己表現 自己表現の各評価基準を基に150点満点で評価する。

ア 部活動等による自己表現（運動系）

野球・サッカー・陸上競技・バスケットボール・バレーボール・テニス・
ソフトボール・卓球・剣道・弓道

評価項目	評価基準
(ア) 基礎運動能力	基礎的な運動能力を身に付けているか。
(イ) 専門能力	専門的な運動能力を身に付けているか。
(ウ) 将来性	将来にわたる活躍が期待できるか。
(エ) 意欲	意欲を持って取り組む姿勢が見られるか。

イ 部活動等による自己表現（文化系）

美術・書道・将棋

評価項目	評価基準
(ア) 基礎知識・技術	基礎的な知識・技術を身に付けているか。
(イ) 専門知識・技術	専門的な知識・技術を身に付けているか。
(ウ) 将来性	将来にわたる活躍が期待できるか。
(エ) 意欲	意欲を持って取り組む姿勢が見られるか。

ウ スピーチによる自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 表現力	表現力が豊かで、正しい言葉遣いで話しているか。
(イ) 意欲	意欲を持って取り組む姿勢が見られるか。
(ウ) 態度	基本的作法ができているか。身だしなみはよいか。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由	本校入学の意思について確認し評価する。
自己アピール	特に優れた内容等について評価する。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「自己表現の成績」、「志願理由書」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

ア 「学力検査の得点」、「算式1で求めた数値」、「自己表現の得点」により順位を付けたときに、それらの順位が次のパーセント以内にある者を入学許可候補者として内定する。

(ア) 受検者数が予定人員以内のときは、受検者数の80%

(イ) 受検者数が予定人員を超えるときは、予定人員の80%

ただし、下記の点に特に問題となる点がないこと。

- ① 学力検査の個々の得点
- ② 調査書の教科の学習の記録
- ③ 出欠の記録
- ④ 行動の記録
- ⑤ 総合所見
- ⑥ その他、調査書及び志願理由書等の記載内容

イ 上記アで決まらなかった者については、すべての項目の得点の合計（総合点）により順位を付け、選抜のための各資料の内容等に特に問題のない者から入学許可候補者として内定する。

$$\begin{aligned} \text{総合点} &= (\text{学力検査の得点}) \\ &+ (\text{調査書の必修科目の評定の合計}) \\ &+ (\text{調査書の教科の学習の記録以外の摘記内容の得点}) \\ &+ (\text{自己表現の得点}) \end{aligned}$$

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。なお、提出されたことにより、不利益な取り扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度卒業生については、個人面接を行う。